

高橋宏幸教授著作等目録

【編著書】

- 『ギリシア神話を学ぶ人のために』世界思想社、2006年3月
『カエサル『ガリア戦記』歴史を刻む剣とペン』岩波書店、2009年5月
(編著)『はじめて学ぶラテン文学史』ミネルヴァ書房、2008年10月

【分担執筆】

- 「プロペルティウス」「オウィディウス」 松本・岡・中務編『ラテン文学を学ぶ人のために』世界思想社、1992年7月
「プロペルティウス」「タキトゥス」他 『集英社世界文学大事典』、1996年10月

【翻訳】

- オウィディウス『祭暦』国文社、1994年7月
セネカ『トロイアの女たち』 『セネカ悲劇集1』京都大学学術出版会、1997年7月所収
キケロー『義務について』 『キケロー選集9』岩波書店、1999年12月所収
(共訳)『ウェルギリウス アエネーイス』京都大学学術出版会、2001年4月
プラウトゥス『プセウドルス』 『ローマ喜劇集4』京都大学学術出版会、2002年4月所収
(共訳)『キケロー選集』15 (『縁者・友人宛書簡集』1) 岩波書店、2002年7月
テレンティウス『ポルミオ』 『ローマ喜劇集5』京都大学学術出版会、2002年8月所収
『セネカ哲学全集5 倫理書簡集1』岩波書店、2005年5月
(編訳)『キケロー書簡集』岩波書店、2006年12月
(共訳)『ウエレイユス・パテルクルス ローマ世界の歴史』京都大学学術出版会、2012年3月
『カエサル戦記集 ガリア戦記』岩波書店、2015年2月
『カエサル戦記集 内乱記』岩波書店2015年10月
『カエサル戦記集 アレクサンドリア戦記、アフリカ戦記、ヒスパニア戦記』岩波書店、2016年7月
『ホラーティウス 書簡詩』 講談社、2017年11月
『オウィディウス 変身物語1』 京都大学学術出版会、2019年5月
『ヘーローイデス 女性たちのギリシア神話』 平凡社、2020年1月
『オウィディウス 変身物語2』 京都大学学術出版会、2020年5月

【学術論文】

- 「コルネリアの卒去—プロペルティウス 4 卷 11 歌 102 行—」(『古代文化』 36/1(1984), 23-38)
- 「ヒュラスの声 : Propertius I.xx」(『西洋古典論集』 2(1986), 1-21)
- 「ドミナ・戸・閉め出された恋人 : プロペルティウス 第 1 卷第 16 歌」(『西洋古典學研究』 34(1986), 59-70)
- 「恋と戦の二つの譬え オウディウス『恋の歌』 第 1 卷第 9 歌, 第 2 卷第 12 歌」(『西洋古典論集』 3(1987), 83-117)
- 「エズラ・パウンドのロゴポエシア」(*Journal of Humane Studies*, 3(1987), 13-40)
- 「キュンティアの怒り プロペルティウス 第 4 卷第 7 歌、第 8 歌」(『西洋古典論集』 4(1988), 29-58)
- 「オウディウス『変身物語』の「噂」」(『京都工芸繊維大学工芸学部研究報告「人文」』 37(1989), 31-46)
- 「無窮の口伝-オウディウス『変身物語』のエピローグ」(『文学』 57/12(1989), 138-156)
- 「ミネルワとアラクネ『変身物語』 第 6 卷 1-145 行」(『西洋古典論集』 10(1992), 30-53)
- 「死の幻像 セネカ『トロイアの女たち』 第二合唱歌をめぐって」(『西洋古典論集』 11(1994), 151-184)
- 「オウディウス『祭暦』第一巻の「平和」とヤヌス神」(『西洋古典論集』 12(1995), 29-74)
- 「ケパルス物語 : オウディウス『変身物語』 第七巻 661-865 行」(『西洋古典學研究』 44(1996), 96-108)
- 「ブラウトゥス『プセウドルス』の策略と芝居」(『西洋古典論集』 13(1996), 11-48)
- 「リウィウス 第 5 巻の神話範例—ob unam mulierem」(『西洋古典論集』 16(1999), 9-38)
- 「パエトンの暴走とオウディウス『変身物語』の構想」(『京都大學文學部研究紀要』 第 41 号(2002), 151-192)
- 「ウェルギリウス『アエネイス』における「非情」」(『西洋古典學研究』 51(2003), 94-106)
- 「アケローオスのもてなしと物語—オウディウス『変身物語』 8.547-9.97—」(平成 15 年度～平成 17 年度科学研究費補助金研究成果報告書『古代小説の発生と展開に関する研究』 (2006), 16-48)
- 「オウディウス『ヘーローイデス』 第 1, 20, 21 歌解釈試論」(平成 16～18 年度科学研究費補助金研究成果報告書『古典古代における書簡文学に関する研究』 (2007), 1-62)
- 「「固い種族」の技術と労苦—ウェルギリウス『農耕詩』(植月恵一郎他『農耕詩の諸変奏』 英宝社 2008, 31-61)
- 「ウェルギリウス『アエネーイス』後半における苦難の終わり」と始まり」(松下知紀・池上忠弘編『Anglo-Saxon 語の継承と変容 I』 専修大学出版局 2009, 95-146)

『アエネーイス』における「葬礼」(『フィロロギカ—古典文献学のために』8(2013), 1-24)
『アエネーイス』結末場面における「好機」(『フィロロギカ—古典文献学のために』
6(2011), 13-33)

藤井琢磨, 高橋 宏幸「プラウトゥス『バックス姉妹』における策略と成功」(『西洋古典
論集』22(2010), 216-248)

‘Reconsidering the Final Scene of the *Aeneid*’ (*JASCA (Japan Studies in Classical
Antiquity)* 2(2014), 103-122)

三田 祐子, 高橋 宏幸『アエネーイス』におけるユートゥルナの役割と機能」(『西洋古
典論集』23(2015), 68-97)

‘Rumor and War: from Caesar to the *Aeneid* and the *Metamorphoses*’ (*JASCA (Japan Studies in
Classical Antiquity)* 3(2017), 116-142)

‘Cephalus, His Story: Ovid’s *Metamorphoses* 7.661-865’ (*JASCA (Japan Studies in Classical
Antiquity)* 4(2020), 71-89)

『農耕詩』第2歌における「接ぎ木」と「多様性」(『西洋古典論集』25(2020), 34-55)

【博士論文】

「オウィディウスの神話語り—手違いの詩歌—」(京都大学2010年1月)

【講演・口頭発表】(論文に著したタイトルを除く)

「ウェルギリウス『アエネーイス』—人を大切にすることがなぜ人を傷つけるのか」(慶
應義塾大学言語文化研究所2011公開講座「ウェルギリウスとホラーティウス—
黄金時代をつくった二人の詩人」2011年10月1日)

‘Translating the *Aeneid* into Japanese’ (Symposium Cumanum (The Vergilian Society)
2014/6/28)

「噂と戦争：カエサルから『アエネーイス』、『変身物語』へ」(日本西洋古典学会第67
回大会、2016年6月5日)

「ウェルギリウス『アエネーイス』指導者のジレンマ」(ギリシアローマ美術館講演会、
2019年12月14日)

「シーリウス・イタリクス『プーニカ』15.1, 17.1の提示」(第20回フィロロギカ研究集
会、2021年10月9日)

【エッセイ】

「ローマ恋愛詩の女性たち」(『イタリアーナ』28(2002), 59-72)

「ラテン文学における歴史意識—ケケロの理論とリウィウスの実践—」(平成8-10年度
科学研究員補助金研究成果報告書『古代ギリシア・ラテン文学に現れた危機の思

想の研究』32-46. 1999年3月)

「審判異聞」(「古典学の再構築」研究成果報告集VI 論集 伝承と受容(世界)71-85. 2003年3月)

‘Classical Tradition: a continuum from here to eternity’ (Kyoto-Cambridge International Symposium. Integrating the Humanities: the Roles of Classics and Philosophy. 29-38. 2006年9月)

「ローマ喜劇と狂言に見る「芝居」」(平成18~20年度科学研究費補助金研究成果報告書『古代ギリシア・ローマ喜劇と狂言の比較研究』12-29. 2009年3月)

「ラテン文学に見る靈魂と伝統」(『アジア遊学』128「古代世界の靈魂観」50-59. 2009年12月)

「文字, 手紙, 文学」(「シンポジウム 文字の力」『西洋古典学研究』58(2010), 102-110)

「馬を馴らす」(『文学』15, 1, 51-62 2014年1月)

【調査報告】

Stele with Greek Inscriptions (Pl. 120. nos.1-3) (*Akoris: Report of the Excavations at Akoris in Middle Egypt 1981-1992*. Koyo Shobo 1995, 327-329)

【随想・雑記】

「エジプト発掘余話(1)—アレクサンドリアの雨—」(『古代文化』34/6(1982), 52-53)

「キケローと喜劇」(『図書』6-1999, 28-30)

「岡先生の教え」(京都大学西洋古典研究会『岡道男先生追悼文集』150-153. 2001年1月)

「アナログ、カタログ、カタログス」(『日本の美学』32「尽くし」30-31. 2001年4月)

「自由に話す」(1)-(5) (京都大学学術出版会西洋古典叢書「月報」37-41. 2002年7月-2003年1月)

「もてなしの物語」(『創文』482(2005.12), 16-19)

「松平先生、思い出いくつか」(京都大学西洋古典研究会『松平千秋先生追悼文集』140-142. 2007年3月)

「小鳥への哀悼歌」(『紫明』20(2007), 18-21)

「水野先生と戯れ」(『ラテン詩人水野有庸の軌跡』大阪公立大学共同出版会、91-92. 2009年3月)

「喜劇とメタ演劇性」(岩波書店『ギリシア喜劇全集』「月報」9, 1-4. 2011年2月)

「オウィディウスと壮大な無駄」(京都大学学術出版会西洋古典叢書「月報」. 2021年7月)